

貸 借 対 照 表

2022 年 3 月 31 日 現在

単位：円

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	972,374,811	負債の部	845,314,592
I 流動資産	866,118,320	I 流動負債	812,010,727
現金及び預金	42,170,623	買掛金	725,265,148
売掛金	455,484,003	未払金	24,525,718
製品	30,884,299	未払費用	8,019,872
原材料	314,986,944	預り金	39,453,889
副材料	1,921,001	未払法人税等	4,955,100
仕掛品	1,214,062	賞与引当金	8,791,000
貯蔵品	13,950,642	役員賞与引当金	1,000,000
前払費用	11,382		
未収入金	3,189,264		
未収消費税等	2,350,100		
貸倒引当金	▲ 44,000		
II 固定資産	106,256,491	II 固定負債	33,303,865
1. 有形固定資産	101,123,354	未払金	11,079,765
建物	40,673,104	退職給付引当金	22,224,100
構築物	3,199,816		
機械装置	39,110,090		
車両運搬具	1,557,504		
工具器具備品	1,925,752		
リース資産	14,657,088		
2. 無形固定資産	1,000		
電話加入権	1,000		
3. 投資その他資産	5,132,137		
繰延税金資産	4,750,637		
敷金及び保証金	381,500		
合 計	972,374,811	純資産の部	127,060,219
		株主資本	127,060,219
		1. 資本金	40,000,000
		2. 利益剰余金	87,060,219
		利益準備金	800,000
		その他利益剰余金	86,260,219
		繰越利益剰余金	86,260,219
合 計	972,374,811	合 計	972,374,811

注 記 表

(重要な会計方針)

1. 棚卸資産の評価方法及び評価基準

評価基準、評価方法は下記のとおりとなっております。

- | | |
|-------------------|-------------|
| (1) 原材料・仕掛品・製品・商品 | 総平均法による原価法 |
| (2) 副材料・貯蔵品 | 移動平均法による原価法 |

2. 固定資産の減価償却方法

- | | |
|------------|-----|
| (1) 有形固定資産 | 定額法 |
| (2) 無形固定資産 | 定額法 |

3. 引当金の計上基準

- | | |
|-------------|---|
| (1) 貸倒引当金 | 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による繰入率に基づく繰入限度額により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込み額を計上しております。 |
| (2) 退職給付引当金 | 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上しております。 |
| (3) 賞与引当金 | 従業員に対して支給する賞与に充てる支給見込額に基づき計上しております。 |

4. リース取引の処理法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

5. 消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式によっております。

(株主資本等変動計算書の注記)

事業年度の末日における発行済株式の種類及び数

普通株式	1,000 株
------	---------